

+ 駅人工祭り各以院立ちあめたる春の勢た後 す延平府より東方編が、題へ好流な即ち間 か死んを四番の風景を時化せしめ ◆輸出入貨物 関エの流域八百清里南 にり乗込み其人員を點換せしに一本省内の流通貨、「編建方面は於て未取調べたる一幹人を全村に差遣したをに全たれば六名の敵兵は直に敵中を以る購め得済るのし、「午後六時着先づ被害の複樣及び火賊有無を 早くのか、八一年、七月りは乗煙車にして上等のもの百斤重かに入園、金根を得一行は降雨を買し馬輌を推して登る月七 じご 鹿 碓 南く鬼の男などに 本。の野塔は数するは最も数ならんが今一二日火殿は馬詢村に入り込み脅迫中なる皆 門司 當時にありて新喜族方面より置せる情報に一点鳥致院の拓植 よりは今少じく東方に進み來り居りしは事節め漸くサ五万年のポプラ苗を植付落業於 よりは今少じく東方と生気をうるりとより、1955年の地域を最近に、の混乱も想ふべしと某窓辺通は落れりまれば巳に波艦隊の一颗はマダカスガル島 人金某外数名と二十丁步の地域を最近院に、の混乱も想ふべしと某窓辺通は落れり、管照によりて重選場方面より置せる情報に 4鳥政院の拓植 在京居留民大庭氏は韓 然市中を積行せるといふに至つては聆賀観光師はまりて重選場方面より置せる情報に を出験し豪海を極由して隣親せるが出番の に輸入さるよもの最も多く脳洲より関狂を一次の憲英二名及の器帯同年敍八時誌方面の 川七百名の思ひから心む、此後の離州に下 秋鷹紫方面3て火賊と我憲兵との衝突は を有するもの、事業に属すれは順税を課せて、一に出て捜査しつ、オットンに至り停機的の多面して免材本は殆んの日本に図籍館へ高子洞に泊し翌日級船山より黄洞郡へ 大邱通信(華麗里) 平量者しくは元山を各方面に越くもの日に りしが春風の騒々と吹き渡るにつれて開城 水清等の原等の職業もなく居喰のしつト んかと空を思抱びて無睹るに入込みたる新 を越へ一手は三峯山方面を複音せせしも要三十一日末明より二手に分れ一分は千方山 事場に出で仮所(三月三十日)一面には永岡 △鎌工場の設立 二月二十九日午前八時順管原憲兵上等兵外 以て左に記載せん 軍隊の活動の前進と共 烏は生 時中止されたる仁川で内に於ける沈没寡艦、規則議案左の如し、統に泰駿の候に際したるを以て確多以來一一目下通常會におて明確により之を、就に泰駿の候に際したるを以て確多以來一一目下通常會におて明誦可して、 韓國通信機關を日本に委任の件は昨日 地に到着されしが凡ろ四五十日間にて全く 主任者新井海軍小将は去月三十一日既に同 | 自跛層をない得さりしが今や彼等が自造公 な元分夏のともう。 ■ 「京城明洞時計商標井初治」は総て之を化一し政府に於て経費を形遊し交通「採取する由なるがその見込は費坪に就て参「透相の如ねも向さに一び講幹を形遊し交通」には水洞に於て八百坪の地間を購入し砂金の議は曾てより昭へられたる歳なるが大浦「の砂金の採取」 京城明洞時計商標井初治 は総て之を統一し政府に於て経費すべしと「の砂金の採取」 「京城明洞時計商標井初治」は総て之を統一し政府に於て経費すべしと「の砂金の採取」 て御命名相成なべしと云ふが取りたれば近日教閥著名なる山名に叔み 等は髪結び鏡にも不自由なればとて大菱僧 せ去為の料理店は特に寂寞を加へ仲居女中一公使は外部に赴ら顧印を了せり 三千五百曜の大装甲巡洋艦二隻は工事縁程 昨年來吳海軍造船廠に於て建能中なる一萬 匁五分獲の收得ある由 に各方面に於ける勢備事業の少くなきたる | 府舎職に於て可決。4定し委任契約は三月卅 ●仁川露船の引揚 ●隣巡洋艦の命名 通信機關問題定 雜 機以北に向ふもの日に加り山 在京平野氏外敷氏は遺 には顔る適常なるを以て経り同航路の機根 をつ航するに過ぎざるを以て船強者の旅 を見るならんといふ 得すべる東滑鐵道或は新工敷設する鐵道祭 居留地の課金 三月三十日午后長崎縣知事荒川磯太郎」 統一の事實現せらるトに至らんと云ふ が説を奪するの多く或る將來右備解各鐵道 別の調査を為す い由して政無間にても之 此程出發せる田次官も此点に関して尚は十 道道に隣州に於て轄來戰利品でして當然獲 韓國に続ける京茶、京義及京元等各種の総 韓廷は去る二拾七日日英米三國公使に對し 一日韓國皇帝の兼可を得て同日午後二時林 す段商務省へ左の電報建したり 中に贈を原却す ●満緯鉄道の統一 規則 市年度層層地環算は左表の通りにして目下 べし 第二條 何等の名称を付すと戦ら、 が自己又は家族の名義を以て同所に於一 で同己又は家族の名義を以て同所に於一 で同己又は家族の名義を以て同所に於一 で同己又は家族の名義を以て同所に於一 で同己又は家族の名義を以て同所に於一 で同己又は家族の名義を以て同所に於一 で同己又は家族の名義を以て同所に於一 で同己又は家族の名義を以て同所に於一 居留地會の審議中なるも委員會の報告せる 一金十萬二千六百六十間也 遠 出 ものなれば本會議に於て半多く變更なかる 第五條 地が会は地が登場記名者に属か 三、収入前の等級に使りない。ノンフィックは私 年俸九 · 助役給 二項 橋梁 差九萬二 を記して、000001、四00 に記して、00001で四二八 が料して、0001で四二八 が料して、0001で四二八 が発し、一、一、一、一、四二八 が料して、一、一、一、四二八 のの一で、四二八 のの一で、四二八 のの一で、四二八 ・ 八百六十六頭也 一年八百六十六頭也 一年八百六十六頭也 一年常費 出 幾餘高

企业 相場へ 台八門



打

Ñ

內眼科耳島

堂

日

出

P.

W

候借深ノ各 類シ融価位 首尚被引益 一就立御

砂化 吳 煙 文 糖 品 服 草 具

電話

開

**宣** 宣 監 定 監 院

華通

番

番

赤血

本

幸

九

號電

ार भा

脷

通

能品質手灣

店

**植物**茶

13

近川勢

多なうし。

al ķ

一丁目三货地

人。

店张出谷粟

谷池養蠶傅智所 七番地日韓農會 谷地養蠶傅智所

北

濱

●傳習 

な

屋新聞舖

月

拾

錢

<u>ক</u>,

7)> 11

(型語三百十四書)

ケ月

7 七 割九 誓 步

